

令和2年度 未来技術実装有識者会議
議事概要

日時：令和2年7月27日（月）

※メールによる持ち回り協議を実施

議事次第

1. 未来技術社会実装事業について
2. 令和2年度提案事業概要 及び選定

議事要旨

- 事務局より、令和2年度未来技術社会実装事業（以下、本事業）選定案及び、本事業を継続する場合の手續方法などについて資料を送付。
- 本事業は継続性や費用対効果について検討する時期に入っており、未来技術の実装にあたり、セキュリティ観点の費用負担なども含め、次年度以降はそのような側面も具体的に意識する必要性を感じる。
- 本事業では好事例も散見されるが、今後さらに実装に向けて類似した技術を用いた事業間の横断的な交流により、自治体間の情報共有を促すべき。
- スマート農業は技術的には確立している印象で、徐々に各地に広がっている。特に少子高齢化による農業の担い手不足という地域課題の解決策として適当な未来技術であると考える。
- 令和2年度未来技術社会実装事業選定案及び、本事業を継続する場合の手續方法などについて承認された。